

## ● 病院の特色

1. 急性期後のリハビリテーションを中心に、地域の在宅医療を支援する機能を持った病院である。
2. 地域密着型の予防医学的な側面にも力を入れ、地域住民や学校、医師会との共同事業を展開している。

## ● 診療実績

## 1. 入院：患者数(人/年)

	疾患	患者数
1	神経系	41
2	耳鼻咽喉科系	4
3	呼吸器系	40
4	循環器系	11
5	消化器系	27
6	筋骨格系	75
7	皮膚皮下組織 腎尿路系、生殖器系	5
8	内分泌・栄養・代謝系	16
9	腎泌尿器系	12
10	婦人科系	2
11	血液・免疫その他	7
12	外傷・熱傷・中毒系	2
13	その他	17

延べ入院患者総数(人/年)： 内科系 5233, 外科系 3211 ; 計 8444

一日平均患者数 : 23.1

## 2. 外来：延べ外来患者総数(人/年)：

内科 8615, 外科 2573, リハビリ科 1167, 眼科 910, 皮膚科 568 ; 計 13833

一日平均患者数 : 57.4

## ● 各部門の実績

## 1. 臨床検査科

部門の構成人員：1名

## &lt;診療科の特色&gt;

1名の検査技師が常駐し検体検査、生理検査業務を行っている。

院内感染対策委員会の中心メンバーとして活動を行っている

ホームページ・広報委員会のメンバーとして活動を行っている。

<主たる業務の状況>

検体検査

2019年度検体検査件数													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
尿・便等検査	253	257	258	332	283	310	348	313	320	231	242	196	3,343
髄液検査	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
血液検査	568	548	536	630	532	572	531	537	533	519	495	480	6,481
生化学検査	4901	4845	4494	5532	4324	5164	4593	4773	4973	4755	4456	3,885	56,695
内分泌検査	76	78	66	112	91	90	80	82	84	90	72	100	1,021
免疫検査	276	283	258	307	245	286	288	288	321	305	312	345	3,514
合計	6,074	6,011	5,612	6,913	5,475	6,423	5,840	5,993	6,231	5,900	5,577	5,006	71,055

生理検査

2019年度													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
心電図	53	53	35	48	31	31	37	36	40	41	43	42	490
呼吸機能	4	0	2	1	1	1	2	0	1	1	1	6	20
ABI	10	11	7	5	4	2	3	4	11	9	5	9	80
ホルター心電図	1	0	1	0	0	0	0	1	1	0	1	1	6
SAS	0	0	1	2	2	3	2	1	3	0	4	0	18
腹部エコー	1	1	3	2	3	1	2	2	2	8	5	2	32
心エコー	13	14	15	17	16	11	12	13	21	11	16	13	172
頸部エコー	6	4	4	2	2	1	2	1	5	7	6	5	45
下肢エコー	2	1	2	2	1	1	1	0	2	1	0	1	14
合計	90	84	70	79	60	51	61	58	86	78	81	79	877

・平成30年12月に医療法等の一部改正が施行され、医療機関が自ら行う検体検査の精度の確保に関する基準として、検体検査の精度の確保に係る責任者の設置及び必要な標準作業書、作業日誌及び台帳の作成等を定める、となったため、標準作業書、作業日誌、試薬台帳等の作成を行った。

・外部精度管理として、岡山県臨床検査精度管理調査(岡山県医師会・臨床検査技師会共催)に参加。

・院内感染対策委員会としての活動：感染対策マニュアル改正、感染対策室だよりの発行。

・検査業務変更点：コスト削減のため採血管の変更。

<過去5年間の件数比較>

検体検査	月別合計												合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
令和元年度	6,074	6,011	5,612	6,913	5,475	6,423	5,840	5,993	6,231	5,900	5,577	5,006	71,055
平成30年度	5,097	6,041	5,946	6,227	6,420	5,406	6,866	5,747	5,812	6,295	4,907	5,461	70,225
平成29年度	5,617	5,884	5,251	5,416	4,881	5,157	4,554	5,013	5,483	5,033	4,464	5,145	61,898
平成28年度	3,776	4,510	4,462	4,388	5,196	4,949	4,451	4,637	4,078	3,675	3,890	4,649	52,661
平成27年度	4,038	3,887	5,045	4,855	5,883	4,635	4,538	4,162	4,261	3,819	4,096	4,549	53,768

生理検査	月別合計												合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
令和元年度	90	84	70	79	60	51	61	58	86	78	81	79	877
平成30年度	72	79	95	80	71	56	85	83	79	88	70	83	941
平成29年度	75	80	80	66	60	52	60	68	69	66	66	81	820
平成28年度	69	73	72	69	76	76	69	52	48	37	55	73	769
平成27年度	65	87	101	71	85	82	74	76	77	77	69	79	943

<学会・研修会参加状況>

2019年7月 14日	日臨技中四国支部 臨床検査総合部門研修会	岡山	聴講
2019年7月 27～28日	日本心エコー図学会第28回夏期講習会	神戸	聴講
2019年9月1日	第7回国立病院臨床検査技師協会 中国四国支部学会	岡山	聴講
2019年9月7日	第55回日本超音波医学会中国地方学術集会	山口	聴講
2019年10月4日	令和元年度中国四国グループ内院内感染対策研修	岡山	
2019年10月13日	日本超音波検査学会四国第35回地方学術集会	高松	聴講
2019年11月23日	令和元年度中国四国グループ内臨床検査技師実習技能研修Ⅲ	岡山	
2020年1月27～28日	日本心エコー図学会第24回冬期講習会	大阪	聴講

2. 薬剤科

部門の構成人員：1名

採用医薬品（令和2年3月末）	内服薬	外用薬	注射薬	合計
採用医薬品数	167	56	91	314
後発採用医薬品数	69	14	22	105
後発医薬品比率（品目割合）	75.82%	66.67%	73.33%	73.94%
後発のある先発品	22	7	8	37

後発品比率	
品目割合	73.94%
金額割合	71.39%
数量割合	81.99%

$$\text{後発品比率(\%)} = \frac{\text{後発品採用品目数}}{\text{後発品のある先発品目数} + \text{後発品採用品目数}} \times 100$$

## <月次業務報告>

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	H31平均
外来	処方箋枚数（院外）（枚）	841	793	775	945	704	807	759	761	792	787	650	742	780
	（院内）（枚）	4	0	2	3	4	6	3	5	4	6	2	2	3
	注射箋枚数（枚）	101	93	123	171	131	141	101	416	183	98	96	76	144
入院	処方箋枚数（枚）	249	256	295	291	250	246	226	263	314	271	262	253	265
	調剤数（剤）	5907	5537	5166	5546	4234	4408	3567	3551	4999	5707	4443	4260	4777
	注射箋枚数（枚）	78	228	274	345	226	198	266	337	118	184	167	177	217
	注射処方件数（件）	134	350	454	740	480	368	548	792	258	479	364	375	445
持参薬確認数（件）	20	20	16	24	13	23	14	21	27	22	24	22	21	
退院時薬剤情報管理指導（件）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
薬物血中濃度（請求件数）（件）	0	0	1	2	3	0	0	2	2	1	1	0	1	
薬物血中濃度（解析件数）（件）	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
プレアボイド報告（件）	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
医薬品安全性情報報告（件）	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

## <学会・研修会・研究会での発表等>

H31年4月～令和2年3月

発表者名	学会名	発表演題名	開催地	年月日
小野 友香	第13回 日本緩和医療薬学会年会	実務実習の標準化を目指して ～中国四国地区国立病院薬剤師緩和ケア研究会の挑戦～	幕張メッセ	5月31日～6月2日

## <平成31年度 金川病院健康教室>

	開催日	テーマ	講師	参加人数
第41回	2019年 6月 7日（金）	「睡眠時無呼吸症候群」について	（金川病院院長） 大森 信彦先生	23名
第42回	2019年 9月 6日（金）	足のむくみ（浮腫）について 足のむくみの解消法	（金川病院 外科医長） 為季 清和先生 （金川病院 理学療法士） 羽田 楓先生	26名
第43回	2019年 12月 6日（金）	五穀米について知ろう （五穀米試食、血糖測定）	伊勢田 泉先生（糖尿病専門医） 植田 麻子（管理栄養士）	16名
第44回	2020年 1月 17日（金）	新春落語会	雷門 喜助 様	40名
第45回	2020年 3月 6日（金）	加齢を上手に生きる2020 （新型コロナのため中止）	（岡山医療センター 泌尿器科医 長）	名

### 3. 放射線科

部門の構成人員：1名

#### <診療科の特色>

診療放射線技師 1名の体制。業務は一般撮影・透視撮影・CT撮影・骨塩定量測定などの放射線検査、岡山市健康診査の肺がん検診を実施しています。また岡山県肺がん精密検診機関でもありますの

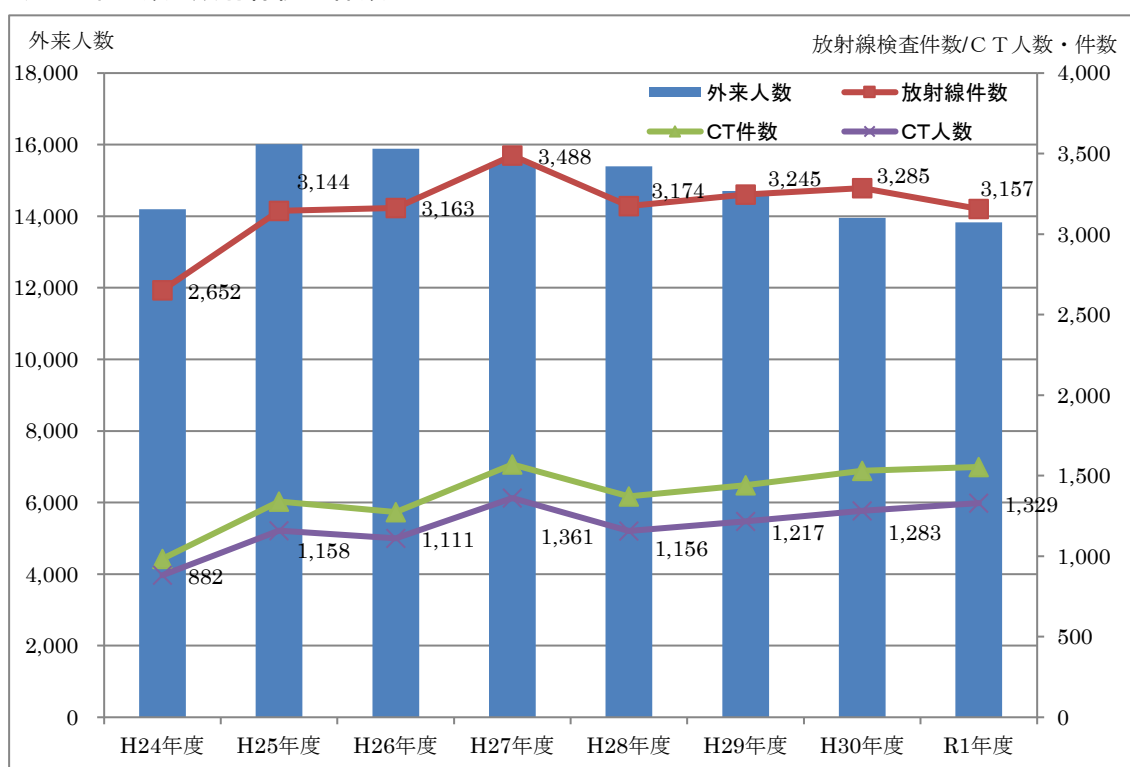
で肺がん精密検診も行っています。撮影した画像は、岡山医療センターの放射線科医が遠隔画像診断を行います。御津・建部地区の開業医院様からの画像紹介の場合も、岡山医療センターの放射線科医が画像診断を行います。開業医院様からの画像紹介お待ちしております。これからも、地域の皆様のかかりつけ病院として、また地域医療の中心として皆様のお役に立てる病院をめざします。

<医療機器>

一般撮影	CR装置 (REGIUS)
骨塩定量	骨密度測定装置 (Dischroma Scan)
透視撮影	デジタルX線TVシステム (Raffine)
CT装置	MSCT (Activion16)

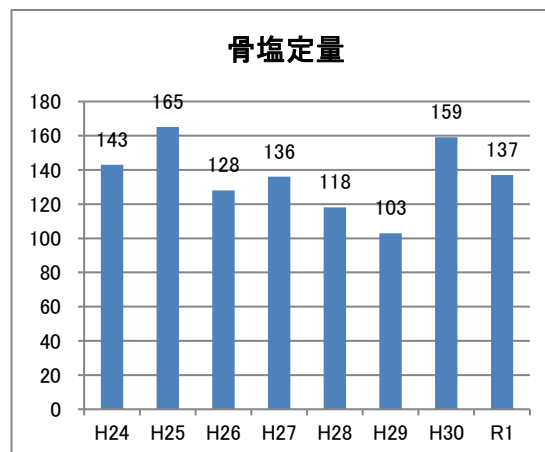
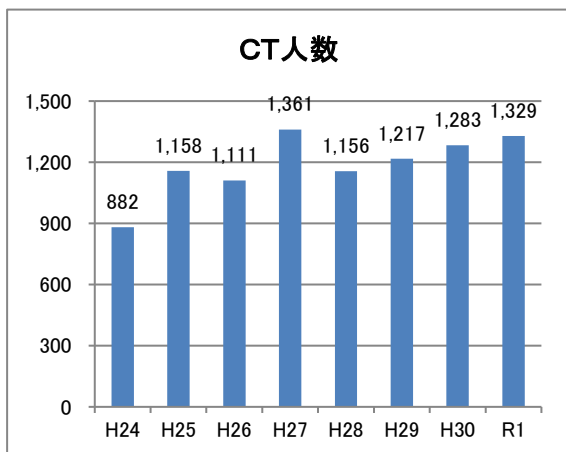
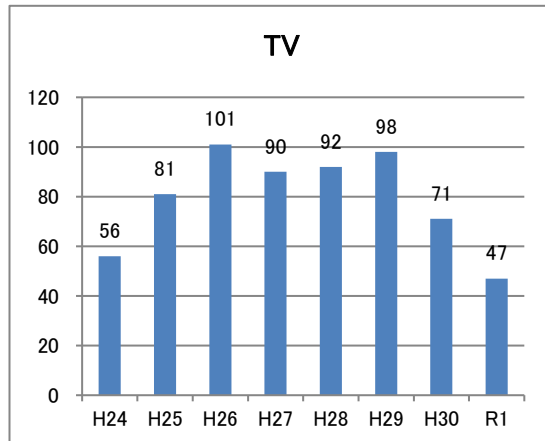
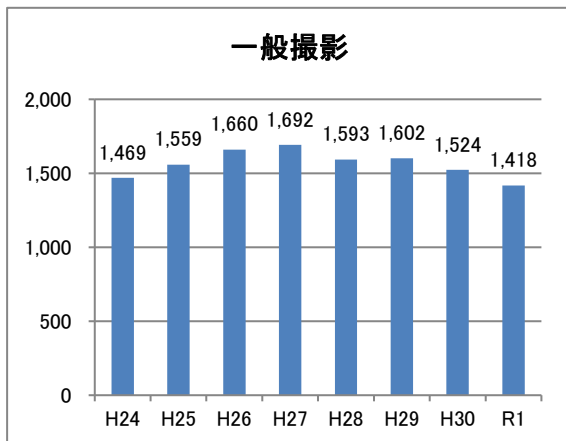
<診療実績>

1) 外来人数と放射線検査件数



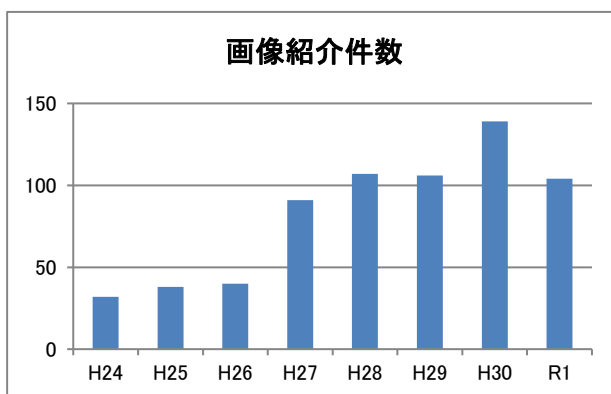
2) モダリティー別検査患者数

年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
検査別数								
一般撮影	1,469	1,559	1,660	1,692	1,593	1,602	1,524	1418
TV	56	81	101	90	92	98	71	47
CT件数	984	1,339	1,274	1,570	1,371	1,442	1,531	1555
CT人数	882	1,158	1,111	1,361	1,156	1,217	1,283	1329
骨塩定量	143	165	128	136	118	103	159	137
合計	2,652	3,144	3,163	3,488	3,174	3,245	3,285	2931



### 3) 画像紹介件数

年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
画像紹介件数	32	38	40	91	107	106	139	104



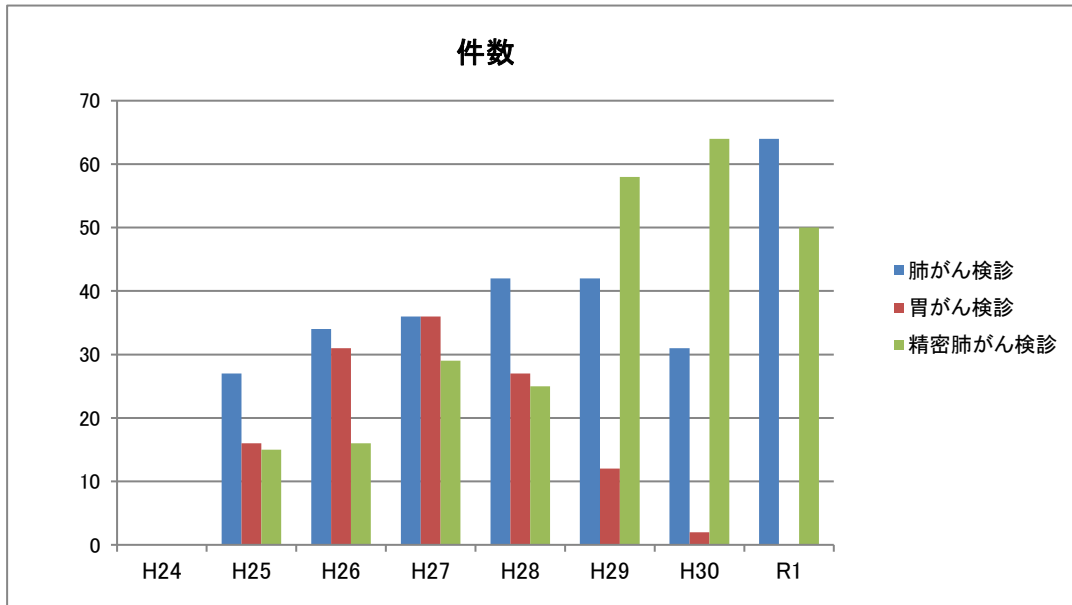
### CT装置



TOSHIBA Activion 16

### 4) 岡山市健康診査数

年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
検査別数	(開院)							
肺がん検診		27	34	36	42	42	31	64
胃がん検診		16	31	36	27	12	2	
精密肺がん検診		15	16	29	25	58	64	50
計		58	81	101	94	112	97	114



<主たる業務の実績内訳>

特になし。

4. リハビリテーション科

部門の構成人数：リハ科医師 1 名、理学療法士 3 名、作業療法士 1 名、言語聴覚士 1 名

<H31 年度を振り返って>

地域包括ケア病棟維持のため必要単位数(1 日平均 2 単位以上提供)を堅守するように努めた。

引き続き近隣施設との連携を図り、加えて出張教室など地域との交流を図った。

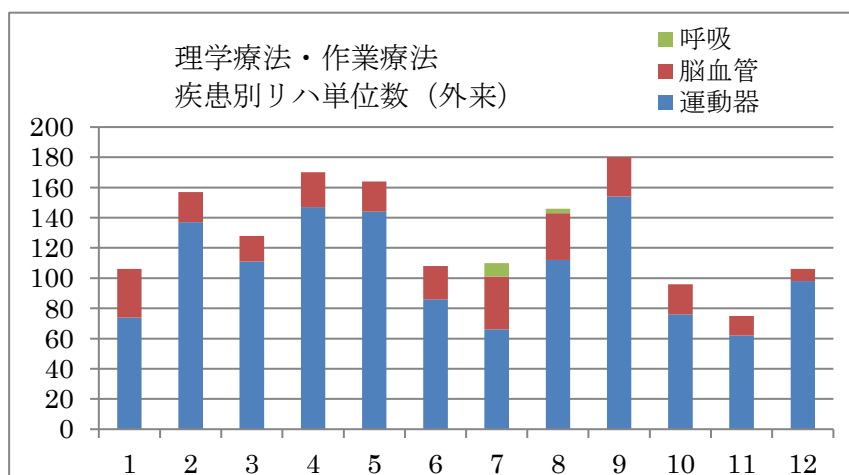
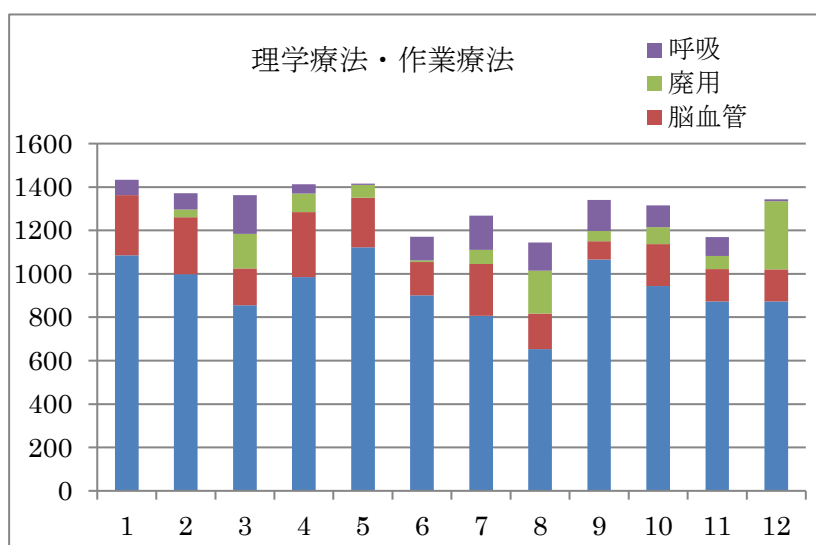
<業務報告>

1) 理学療法・作業療法実績(入院)

月	理学療法				作業療法				合計
	運動器	脳血管	廃用	呼吸器	運動器	脳血管	廃用	呼吸器	
4 月	856	193	0	57	229	84	0	15	1434
5 月	817	168	34	64	181	95	1	11	1371
6 月	668	133	151	118	187	37	8	61	1363
7 月	795	245	84	9	190	54	2	33	1421
8 月	907	184	41	3	215	45	17	3	1415
9 月	654	126	2	69	247	28	5	40	1171
10 月	605	195	63	82	201	44	2	76	1268
11 月	505	151	173	68	148	13	24	62	1144
12 月	887	70	17	55	179	14	30	89	1341
1 月	740	132	78	74	204	61	0	26	1315
2 月	701	112	57	62	172	37	4	25	1170
3 月	766	71	200	8	107	76	115	0	1343
合計	8901	1780	900	669	2260	588	208	441	15747

2) 理学療法・作業療法実績(外来)

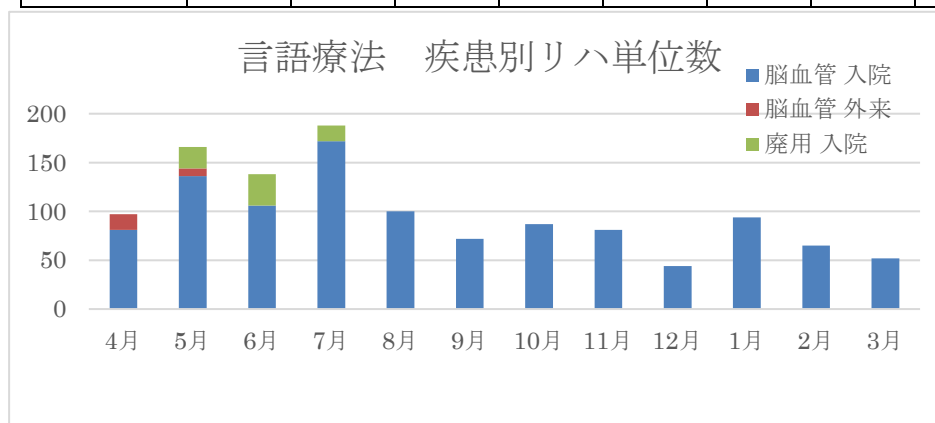
	理学療法			作業療法			合計
	運動器	脳血管	呼吸器	運動器	脳血管	呼吸器	
4月	36	17	0	38	15	0	106
5月	62	8	0	75	12	0	157
6月	47	2	0	64	15	0	128
7月	84	4	0	63	19	0	170
8月	74	10	0	70	10	0	164
9月	44	4	0	42	18	0	108
10月	50	12	9	16	23	0	110
11月	77	14	3	35	17	0	146
12月	89	9	0	65	17	0	180
1月	56	8	0	20	12	0	96
2月	45	11	0	17	2	0	75
3月	42	8	0	56	0	0	106
合計	522	122	0	410	144	0	1546





### 3) 言語療法実績(入院・外来)

	脳血管(単位) / 廃用		心理知能検査(件)			摂食機能療法(件)		
	入院	外来	入院	入院	外来	計	入院	外来
4月	81	16	0	18	11	29	45	0
5月	136	8	22	16	9	25	16	0
6月	106	0	32	12	6	18	33	0
7月	172	0	16	18	6	24	35	0
8月	100	0	0	14	5	19	53	0
9月	72	0	0	13	8	21	31	0
10月	87	0	0	9	5	14	27	0
11月	81	0	0	20	8	28	32	0
12月	44	0	0	22	8	30	28	0
1月	94	0	0	17	8	25	27	0
2月	65	0	0	12	1	13	54	0
3月	52	0	0	20	3	23	33	0
合計	1090	24	70	191	78	269	414	0



<研究業績> 特になし。

### 5. 栄養管理室

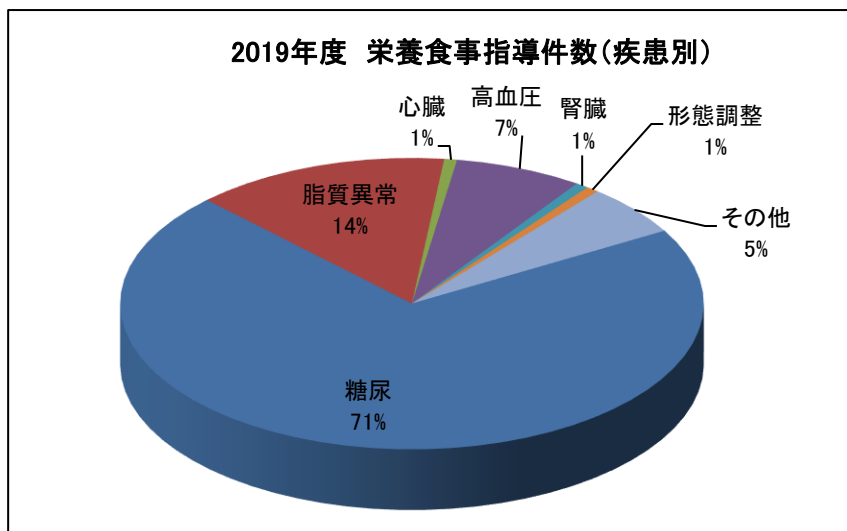
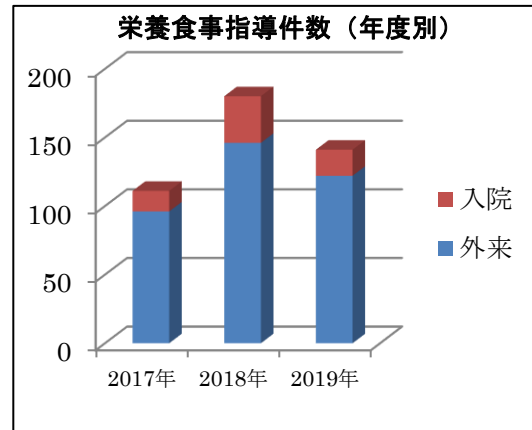
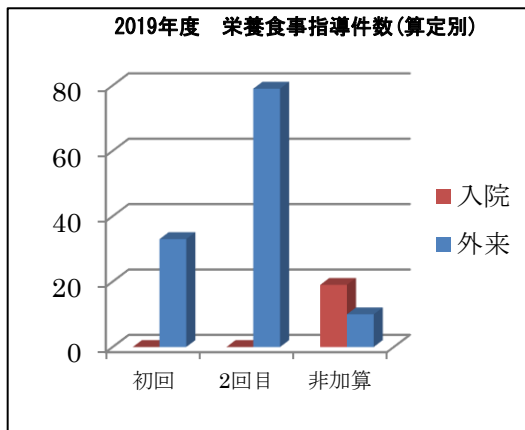
部門の構成人数: 1名(管理栄養士)

活動状況

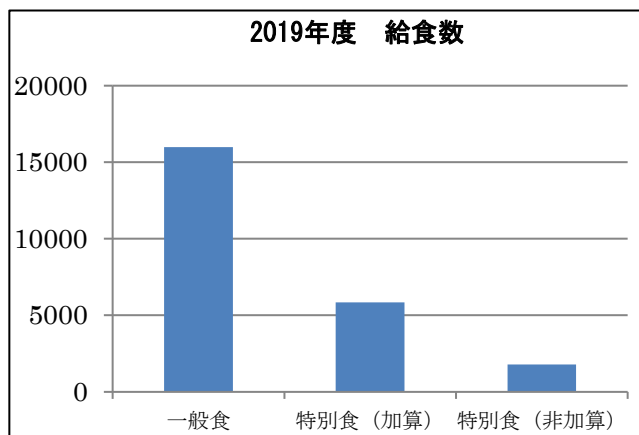
#### 1) 栄養食事指導

入院・外来患者に対して、医師の指示に従って適切な栄養食事指導を行っている。

入院時の指導に関しては包括ケア病棟のため非加算となる。



## 2) 給食管理



### 【一般食】

並菜、軟菜等

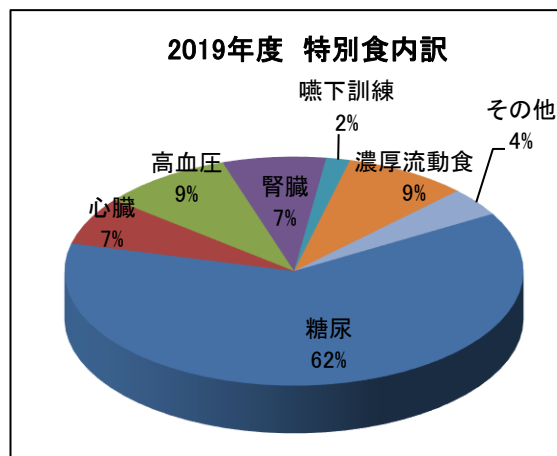
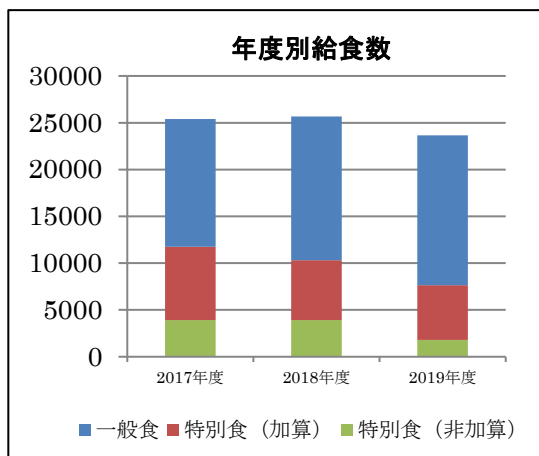
### 【特別食(加算)】

糖尿食、心臓食、腎臓食等

### 【特別食(非加算)】

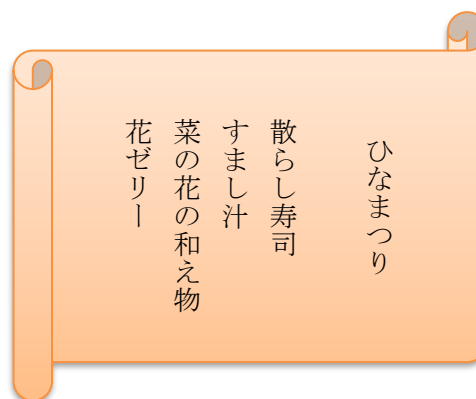
高血圧食、嚥下訓練食等

咀嚼、嚥下状態に合わせて  
形態調整の対応を実施



### 3) 行事食の提供

入院中の食事を楽しみにしていただけるよう、季節、行事に合わせた食事を提供している。



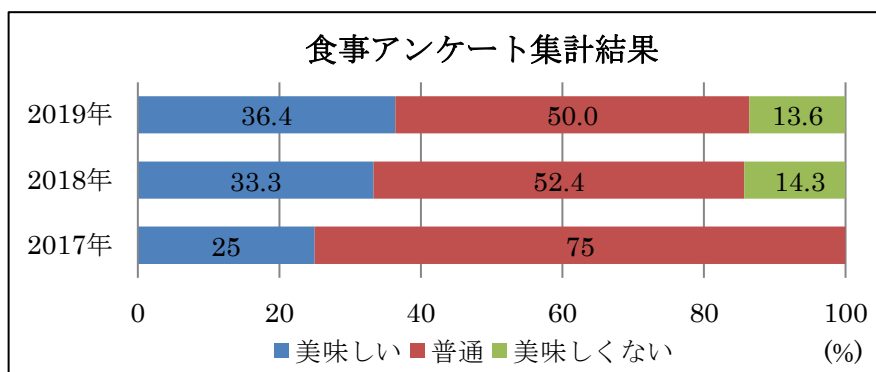
### 4) チーム活動、ラウンド

各種チーム医療へ参加し、管理栄養士の専門性を活かして患者個々の病態に適した 栄養療法を提案できるよう努めている。

ミールラウンド(毎昼食時)、各カンファレンス、ラウンド(毎週)

### 5) 嗜好調査

年 2 回、入院患者から食事に対する評価をいただき、献立作成に役立てるために嗜好調査を行っている。調査の結果を参考により良い病院食の提供に努めている。



## <研究業績>

### 1. 研修会、講演会

- 1) 熱中症予防  
植田幸子  
九谷地区健康講座, 2019年7月10日, 岡山
- 2) 旬の食べ物、美味しい付き合い方  
植田麻子  
暮らしの保健室@みつ, 2019年10月18日, 岡山
- 3) 食べることと健康について  
植田麻子  
認知症カフェ(吉備中央町), 2019年12月18日, 岡山
- 4) 認知症予防の食事  
植田麻子  
下伊田地区健康教室, 2020年1月8日, 岡山
- 5) 認知症予防の食事  
植田麻子  
絆サロン(国ヶ原友愛会), 2020年1月14日, 岡山
- 6) 食べることと健康について  
植田麻子  
認知症カフェ(吉備中央町), 2020年1月15日, 岡山
- 7) 肝臓にやさしい食生活  
植田麻子  
暮らしの保健室@みつ, 2020年2月21日, 岡山

### 6. MSW

部門の構成人数: MSW 1名

#### <部門の特色>

#### 1) 退院調整

患者様、ご家族との面談の中で退院後の生活において心配な点についてお話を伺います。必要に応じて中間カンファレンスを行ない、目標やゴール設定をおこない患者様、ご家族のみならず地域スタッフや院内スタッフがー丸となってより良い支援ができるよう計画します。また退院前カンファレンスの実施をおこない、退院後に関わる地域スタッフとの情報共有をおこないます。在宅復帰が困難な患者様については、施設入所の調整も行っています。患者様、ご家族が安心して退院できるよう、適宜、話し合いの場を設定しながら調整をすすめています。

#### 2) 家屋訪問

リハビリが進み、退院を視野に入れて考える時期になれば患者様、リハビリスタッフと共に家屋訪問に伺っています。実際に家屋の状況を確認し、退院後の生活で困る面がないかどうかチェックを行います。改善すべき点は福祉用具業者に改修を依頼したり、新たな福祉用具の手配を行います。

### 3) 地域連携

棟続きに北地域包括支援センター御津分室があり、随時連絡がとり合える状況にあります。支援が必要な患者様の相談を受けたり、介護保険をこれから受けられる方の相談もしています。

御津地区のケアマネージャーとは、『みつ地域退院支援ルール』に基づき連携強化に取り組んでおり患者様に対して、行き届いた支援ができるよう努めています。

みつ訪問看護ステーションは、御津地域全体を網羅するステーションであり、密に連携をとっています。既に訪問看護を受けられている患者様に関する問い合わせや、介入が望ましい際の新規依頼も行っています。また、MSWは医師と訪問看護師・ケアマネージャーを繋ぐ役割も担っています。

### 4) 地域連携

棟続きに北地域包括支援センター御津分室があり、随時連絡がとり合える状況にあります。支援が必要な患者様の相談を受けたり、介護保険をこれから受けられる方の相談もしています。

御津地区のケアマネージャーとは、『みつ地域退院支援ルール』に基づき連携強化に取り組んでおり患者様に対して、行き届いた支援ができるよう努めています。

みつ訪問看護ステーションは、御津地域全体を網羅するステーションであり、密に連携をとっています。既に訪問看護を受けられている患者様に関する問い合わせや、介入が望ましい際の新規依頼も行っています。また、MSWは医師と訪問看護師・ケアマネージャーを繋ぐ役割も担っています。

#### 援助件数(外来)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
心理社会的問題	3	4	3	0	8	8	10	25	19	8	9	11	108
受診受療問題	88	68	95	31	29	75	36	35	43	62	40	43	645
経済的問題	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
社会復帰支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
個別外援助	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	91	72	98	31	38	83	46	60	62	70	49	54	754

#### 援助件数(入院)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
心理社会的問題	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
退院支援	90	78	78	30	73	143	113	80	110	91	116	135	1137
受診受療問題	0	0	0	0	2	3	0	2	1	0	0	1	9
経済的問題	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	3
社会復帰支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
個別外援助	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	90	78	78	30	77	147	113	82	112	91	116	136	1150

## 7. 医局

部門の構成人数：常勤 3 名

### <研究業績>

#### 1. 論文発表

- 1) 大森信彦『Nudge』のツボ(！?)を探す旅・・10分間朝会の効用.  
岡山県医師会報第 1500 号記念特集号 2019 年6月1日. pp159-162
- 2) 大森信彦.『注文を間違えるレストラン『ルネストラン』: 認知症の方を優しく支えられる地元高校生を育てよう!』.G20 岡山保健大臣会合(2019 年 10 月 19 日~20 日)  
岡山市の認知症の取り組みパネル発表 (和文・英文)

#### 2. 学会、研究会

- 1) 『御津高校生との協働による『注文を間違えるレストラン・ルネストラン』企画の経験  
大森信彦  
第23回日本医療マネジメント学会岡山県支部学術集会, R1..9.28(岡山赤十字病院)
- 2) 『御津高校生との協働による『注文を間違えるレストラン・ルネストラン』企画の経験  
大森信彦  
第4回岡山県地域包括ケアシステム学会, R1.9.29(岡山県医師会館)

#### 3. 受賞講演

- 1) 『注文を間違えるレストラン『ルネストラン』: 認知症の方を優しく支えられる地元高校生を育てよう!』  
大森信彦  
岡山市 SPG フォーラム 第 4 回おかやま協働まちづくり賞受賞式, R2.2.23(岡山大学 50 周年記念館)

#### 4. 講演

- 1) 「睡眠時無呼吸症候群」について  
大森信彦  
第 41 回金川病院健康教室:R1.6.7(金川病院大会議室)
- 2) 足のむくみ(浮腫)について  
為季清和  
第 42 回金川病院健康教室:R1.9.6(金川病院大会議室)
- 3) 五穀米について知ろう!  
伊勢田 泉  
第 43 回金川病院健康教室:R1.12.20(金川病院大会議室)
- 4) 『長生きのひけつ』  
大森信彦  
てくてく会健康講話:R1.8.22(岡山市社会福祉協議会御津分室)
- 5) 『ピンピンコロリのコツ』  
大森信彦  
赤磐ロータリークラブ例会講話:R1.12.10
- 6) 『注文を間違えるレストランについて』

大森信彦

岡山西南ロータリークラブ例会講話：R2.1.31

7) 「神経生理学」

大森信彦

岡山医療センター附属看護学校講義 R1.6.14、21、28

8) 『認知症の高齢者との接し方』

大森信彦

岡山県立御津高等学校ルネス学授業認知症サポーター養成講座：R1.5.29

(岡山県立岡山御津高校)

5. その他

(大森信彦)

注文を間違えるレストラン『ルネストラン』企画：R1.7.21(デイサービスセンター なごみ)

山陽新聞報道 R1.5.30:岡山県立御津高校のルネス学と認知症サポーター講座

岡山県立御津高等学校評議員会：R1.6.26、R2.3.3(岡山県立岡山御津高校)

御津医師会理事会：各月第3水曜(御津医師会事務局)

岡山県地域包括ケアシステム学会理事会：H31.4.22、R1.9.29(川崎医科大学)

日本医療マネジメント学会岡山県支部理事会：R1.9.28、2.22(岡山赤十字病院、岡山労災病院)

## 1. 病棟の具体的な目標と評価

## 1) 専門職として看護ケアの質を保証する

- (1) 原理原則の徹底、院内ルール(看護手順等)の遵守 (2) 専門的知識を深め、実践力を深める  
(3) 看護を可視化して後輩に伝える (4) 現場で直面する倫理的問題について話し合い、個々の倫理性を高める

ナーシングスキルを利用することで手順と根拠の再確認を行った。毎日のミニカンファレンスの場をもつことで情報や知識の共有だけでなく、指導方法や伝え方を考える場とすることができた。また、デスカンファレンスを6件実施し、現場で直面する倫理的問題を話し合うなかで、個々の倫理感性を高め、患者、家族にどう関わっていくかを共に考える姿勢を育むことに繋がった。

## 2) 病院運営、経営に参画する

- (1) 病院の目標、看護単位の目標を理解し、具体的対策を行動化する (2) 入退院支援看護師を育成し、平均在院日数、在宅復帰率の目標を維持する

平均在院患者数 23 名、看護必要度 21.6%(目標 10%以上)、平均在院日数 32.8 日、在宅復帰率 87.7%(目標 70%以上)と目標達成できた。平均開放病床利用率は 55.6%(目標 20%)であり、指導日数も維持できた。施設基準の遵守に努め、入院期間は 60 日以上にならないよう入院時から多職種と連携を図った。退院前カンファレンスや家屋調査の実施、入院支援フローチャートの活用により、入院時から退院を見据えスタッフ個々が早期から介入できるようになったことが在宅復帰率の維持に繋がったと考える。

## 3) 安全な医療、看護を提供する

- (1) 患者の視点に立った医療安全を推進する。事故防止のために各種マニュアルを遵守する  
(2) 感染防止対策に基づいた看護実践を行う

インシデントレポートからの改善策として、薬ケースの改良、施設管理薬の保管方法の変更等に取り組んだ。また、KYT ミーティングを毎月実施し、月間目標を立案し病棟全体で取り組んだ。そのことにより、スタッフの意識や行動変容に繋がった。また、転倒事例を元に Shell 分析の勉強会を行い、分析方法の知識を深めることができた。感染対策については、手指消毒剤を個人持ちとすることによりスタッフの使用する意識が高まった。手指衛生の強化月間を設け、手指衛生の5つのタイミングの唱和や場面をみてタイミングを考えることなどを実施し、適切な手指衛生が遵守できるように働きかけ、実施することができたと考える。

## 4) 専門職として学び続ける

- (1) 教育プログラムを活用し看護師及びチームを育成する (2) 看護研究に取り組みその成果を活用する

経年別研修に全員が参加できた。院外研修へ参加したスタッフは、学んだ知識を勉強会や抄読会、資料等を用いてフィードバックすることができた。内視鏡介助者育成のための教材がなかったため DVD を作成し今後の教育に繋げていく。ユマニチュードについての看護研究に取り組み、日々の看護実践に取り入れることができた。認知症患者への看護をスタッフ全員が深めていくことができるように継続して取り組んでいく。



5)看護の先輩として学生指導に携わる

(1)将来共に働く仲間であることを認識し、「共有」の姿勢で学生指導を行う

CE 中心に指導を行い、実習開始時には朝のミーティングで実習目的をスタッフへ周知し、指導に対しての意識づけができた。そのことにより待つ姿勢や促しの声掛け、また多職種によるカンファレンスで学生が発言できる場作りなどに変化が見られるようになった。

6)活気ある職場を目指す

(1)明るい挨拶と報告、連絡、相談のできる職場環境を作る (2)ワークライフバランスを意識した業務改善を遂行する

挨拶に関して、病棟全体で取り組みスタッフ間だけではなく、患者、家族、面会者等に対しても挨拶ができています。また、報告、連絡、相談がしやすい雰囲気作りを心掛け、声をかけられた場合は忙しい時でも手をとめて聞くように変わってきた。またスタッフ全員が感謝の言葉を伝えることができ、お互いを気遣う職場風土が確立された。業務改善については、チーム内での声掛けを実施し、残務の確認を行いながら協力体制を整えることができた。しかし、時間外勤務の短縮には至っていないため今後も改善及び評価が必要である。

2. 病床運営状況

表1 令和元年度 病床運営状況

収用可能 病床数(床)	診療科名	月平均		平均在院患 者数(人)	平均在院 日数(日)	病床利用率 (%)
		新入院患者数(人)	退院患者数(人)			
30	内科・外科	21.6	21.3	23.1	32.79	76.9
有料個室		死亡者数(人)	包括ケア病床 在宅復帰率(%)			
病床数(床)	稼働率(%)					
8	77.9	16	87.7			

表2 令和元年度 外来診療状況

年間外来患者数(人)					検診件数(件)		予防雪舟実施件数 (件)		内視鏡 実施件 数(件)
内科	外科	皮膚科	眼科	リハビリ科	がん検診	検診	インフルエンザ	肺炎球菌	
8615	2573	568	910	1167	153	107	424	40	134

3. 看護体制

表3 令和元年度 看護体制

配置人数(人)	看護方式	夜勤体制(準:深)
22	固定チームナーシング	2:2

4. 看護統計

1)重症度、医療・看護必要度

表4 令和元年度 重症度、医療・看護必要度 I

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
基準を満たす患者の割合(%)	12.2	12	18.6	20.4	24.2	18.6	30.8	34.4	23.4	20.3	21.6	13.1	20.4

## 5. 研究業績

### 1) 看護研究発表・研究会発表

発表演題名	発表者	学会名	開催地	開催日
認知症ケア技法ユマニチュード導入前後の看護師の認識の変化	青野 倫弘	看護研究発表会	院内	2020年2月8日